



7・8月に市内で行われたイベントについてお知らせします

今月の表紙

りゅうおうまつり
龍王祭



威勢のいい女樽神輿

7月22日(金)・23日(土)に鬼怒川温泉で、23日(土)・24日(日)に川治温泉で、夏の風物詩「第48回龍王祭」が開催されました。

鬼怒川温泉会場では、特設ステージで郷土芸能をはじめ歌謡ショーが披露されました。また、鬼祭会の万燈神輿や華やかな3基の女樽神輿、中学生による鬼怒若万燈神輿が温泉街を練り歩き、会場を盛り上げました。

一方、川治温泉会場ではダンスパフォーマンスやジャズライブ、光と音のステージなど、さまざまなショーが披露される中、来場者はゆったりと椅子に座り、屋台の飲食物を堪能しながら祭りを満喫していました。ステージの最後は、豪華商品が当たる大ビンゴ大会で盛り上がりました。



浴衣姿の観客でにぎわう川治温泉会場



和楽踊りを楽しむホリイさん

8月5日(金)、清滝地区の古河電工日光事業所で、日光和楽踊りが開催されました。イギリスから姉のキティさんと訪れたホリイさんは「日本らしい文化に触れ、実際に参加することができてうれしいです。姉から和楽踊りの話を聞いて、ぜひ見たいと思っていました。本当に来て良かったです」と楽しそうに語っていました。

日光和楽踊り



会場が一丸となって応援

8月7日(日)午後11時から、リオデジャネイロ五輪ホッケー女子「さくらJAPAN」初戦、インド戦のバブリックビューイングが道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で行われました。会場には、柴田あかね選手と大家涼子選手が所属するグラクソ・スミスクラインのチームメイトなど、約120名が駆けつけました。結果は引き分けでしたが、選手の活躍に会場は大いに盛り上がりました。

リオ五輪観戦



目標に向かい走るランナー

8月7日(日)、例幣使街道で日光杉並木マラソン大会が開催されました。大会には全国各地から集まった約2,500名と、市と観光友好都市の大韓民国慶州市訪問団の選手が参加しました。コースは、3km、5km、10kmの3コースが用意され、参加者たちは自己ベストを狙ったり、完走を目指したりと、それぞれの目標に向かって杉並木の中を走り抜けました。

日光杉並木マラソン大会



ゴールテープを切る瞬間

群馬県から参加した中村翔平さんは「杉並木という歴史を感じる場所を走ることができて感慨深いですね。暑かったけど、街道を抜ける風が気持ちよかったです」と話してくれました。また、今大会で市在任の成績上位者は、慶州市と台南市で開催する大会に市代表として出場する予定です。



ゲーム大会に参加する子どもたち

7月17日(日)・18日(月・祝)、足尾銅山観光に隣接する足尾文化交流館の開館1周年を記念するイベントが開催されました。会場では、銅山の歴史や文化を伝える常設の展示に加え、昔の風景と現在の風景を対比した写真展やゲーム大会などが行われ、大勢の観光客や地元の小学生たちなどでにぎわいました。

足尾文化交流館1周年



かわあかりを見つめる沖田さん

7月23日(土)・8月4日(木)、湯西川温泉の夏の恒例行事に定着した「心かわあかり」が開催されました。川面に7色に光るLED「やまほたる」が放流されると、集まった観光客たちは歓声を上げていました。埼玉県から訪れた沖田さんは、「想像以上にきれいで驚きました」と目を輝かせていました。

心かわあかり



記念品を手にする松田さん一家

8月3日(水)、足尾銅山観光の入坑者が850万人に達し、記念セレモニーが行われました。幸運な入坑者は、静岡県から家族旅行で訪れた松田直美さんと長男の成永くん(小6)、次男の修誠くん(小4)と直美さんの両親の佐野尚志さんと加代子さん。くす玉を割り、湯澤光明副市長から記念品の銅製マグカップが贈られました。

足尾銅山観光入坑者850万人達成!



セレモニー後、銅山観光へ出発!

昭和55年にオープンした足尾銅山観光は、全長1,234kmのうち700mをトロツコ電車などで回り、鉱石採掘が再現された様子を見ることが出来ます。足尾銅山の歴史や役割が学べる施設です。尚志さんは、「こんな体験はなかなかない」と喜び、子どもたちも日光に初めて来たけど、いい思い出になった」とほしゃいでいました。

竹の宵まつり



灯籠で飾り付けられたメイン会場

7月9日(土)~24日(日)、湯西川温泉で「竹の宵まつり」が開催されました。

このイベントは今回で13回目。毎年地元の人たちの手作業によって、灯籠のロウソクに灯がともされています。

取材に訪れた23日、会場には竹でできた灯籠が何本も並べられ、ホテルや旅館などの浴衣を着た観光客たちが夕涼みに訪れていました。

幻想的な光景を目の当たりにした笹島さん(東京都あきる野市)は、「LEDや電球などの明かりを使わずに、手作業でロウソクに灯をつけているのがすごいと思います。柔らかくて優しい光ですね。子どもたちにとっても、楽しい夏休みの思い出になったと思います」と感心した様子で話してくれました。



短冊に願いをこめて...